

ているが、今後の取り組みはどう進めるのか。

【答弁】 観光振興は、胆沢ダムを観光資源として活用、農業を中心とした体験型メニューの着地型観光を柱に推進する。観光物産協会とのさらなる連携が重要であり、地域おこし協力隊の活用を図りながら観光振興に努める。

【質問】 平成29年度は「奥州アピール」の年と位置付けているが、具体的内容は。



台湾の百貨店で開催した奥州フェア

【答弁】 新たに5月に開催予定の「いわて奥州きらめきマラソン」や毎年開催をめざしている「カヌー・ジャパンカップ」や、また台湾をターゲットとした観光戦略などで、奥州市の名を全国へ発信していく。

【質問】 行財政改革を進める一方、各事業における推進室や対策室の新設が目立つが、充分な対応が可能なのか。

【答弁】 「人口プロジェクト推進室」「I・L・C推進室」「下水道法適法準備室」「空家対策室」などの設置は、時期に応じた市政運営が必要であり、今後も柔軟に対応していく考えである。

教育委員長に対する質問

【質問】 学校再編計画のスケジュールについて伺う。

【答弁】 少子化が進み、学級や学校の縮小が進んでいるところも出てきている。適切な対応が必要である。31年度の計画の策定に向け、29年度は学校の現状と将来の見通しを示し、住民からの意



演述する吉田教育委員長

見聴取と適正配置に関する素案の作成を行いたい。30年度は素案に対する意見の聴取、適正配置案の作成を考えている。

【質問】 子どもの貧困対策の状況はどうか。国では法律が作られ、指針が示されている。奥州市としての考えを伺う。

【答弁】 入学準備金などの就学援助制度の活用を実施している。状況を共有しながら、対応をしていきたい。

【質問】 時間外勤務が非常に多い学校職員への対策はどのように考えているか。精神面などの健康への不安が非常に大きい。

【答弁】 80時間や100時間を超えるような

勤務に対して、軽減していかなければならない。週一回は定時に帰るようにステッカーを作成したり、業務の見直しのためのアンケートを実施したりしている。

【質問】 食育を進める上で、食材の産地への関心を高める必要があると思うが。

【答弁】 できるだけ地元の食材を使うようにしている。生徒と生産者と交流の機会を設けたり、給食会に生産者を招いたりもしている。

【質問】 後藤新平先生の、自治三訣の考えを子どもたちにも広めていくべきと考ええるが。

【答弁】 人間育成、心の道徳、生き方などの面で優れた考えと捉えている。自分の生き方、友達との接し方などに活かしていくことが望ましい。具体的には中学校での取組みを検討している。

【質問】 歴史的建造物などの文化財の活用はどうか。

【答弁】 各学校に対し、文化財施設の見学、体験学習、出前講座などが行われるように情報提供をしている。